

平成31年度 年間授業計画

- 1 学年・科目・単位数
第3学年 物理基礎 選択：2単位
- 2 担当教員
- 3 教科・科目のねらい
日常生活や社会との関連を図りながら、物理学の基本的な概念や原理・法則を実験を通して理解させ、科学的見方や考え方を養う。
- 4 年間授業計画

学期	単元（授業内容／時間）	重点項目	評価の観点
1	運動とエネルギー ・運動の表し方 ・運動の法則 10時間	単位と記号について理解させ、運動を数式やグラフで表現させる。いろいろな力について理解させる。実験結果を量的に整理させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・物理学の概念を理解できているか。 ・正確な計算ができるか。 ・物理現象に関心を持ち、意欲的に探究する態度で授業に臨んでいるか。 ・実験結果を量的に把握・整理し、考察できるか。 ・発言、発表を意欲的にしているか。
	運動とエネルギー ・仕事と力学的エネルギー 熱 ・熱とエネルギー 17時間	エネルギーと仕事の基礎概念を理解させる。熱の移動及び熱と仕事の関係を理解させる。実験結果を量的に整理させる。	
2	波 ・波の性質 ・音 14時間	波の基本的な性質について、直線状に伝わる場合を中心に理解させ、波を作図させる。音の性質を理解させる。	
	電気 ・物質と電気抵抗 ・磁場と交流 14時間	電気の正体や性質について理解させる。物質の種類により抵抗率が異なることを理解させる。実験結果を量的に整理させる。	
3	物理学と社会 ・エネルギーの利用 ・物理学が拓く世界 15時間	日常生活において利用されているエネルギーの源やその特性について理解させる。	

- 5 使用教科書・副教材他
改訂版 新編物理基礎 國友正和（ほか10名）著 （数研出版）
- 6 評価方法・観点

成績算出に当たっては定期考査の素点を重視するが、平常点も加える。平常点は授業態度、意欲、発言・発表、授業ノート、小テスト、実験プリント、その他提出物、出席状況などを総合的に考慮して算出する。

※なお、上記は予定であり、行事等により一部変更になることがある。